



ひまわり

やん
の街!

2016
NOV

もくじ

- 2 情勢 ~障害者虐待防止法について~
- 3 きょうされん全国大会inくまとの報告
- 4・5 ハートフェスタ2016のお礼
- 6 「ちょっと聞いてよ!」第7回・時・ご寄付

ハートフェスタ2016 開幕宣言

社会福祉法人 亀岡福祉会

法人本部：〒621-0033 京都府亀岡市蔭田野町佐伯大門30-1

TEL:0771-24-2596 FAX:0771-24-2597

HP <http://www.kamecomyu.net/>

石田将人

MASATO ISHIDA

かめおか作業所
所長

障害者虐待防止法について

障害のある人を真ん中に

障害者権利条約の批准から2年。障害のある人たちが「くらしたいところ」で、くらしたいように生きる「しくみづくり推進の声」が上がるようになってきています。亀岡福祉会でもその内容をいっそう深める取り組みを続けています。開設以来37年障害のある人を真ん中の根幹は変わることはありません。その時どきのニーズに合った障害のある人たちが安心していきいきと生活できる地域づくりや、本号にも掲載しておりますハートフエスタや署名活動などに取り組んできました。幅広い方々に「誰もが大切にされる地域」「顔の見えるつながりづくり」「平和の大切さ」を発信し続け、緩やかにではありますが理解の輪は広がってきていると感じています。

虐待防止法はどんな法律か？

しかし残念ながら国内および近隣でも障害のある人の人権を侵害するニュースが度々報道されています。「障害者虐待防止法」は平成23年6月に国会で成立、翌10月1日に施行されました。目的に「障害者に対する虐待が、障害者の尊厳を害するものであり、障害者の自立及び社会参加にとって障害のあ

る人に対する虐待を防止することがきわめて重要であるため、障害者虐待の防止、養護者に対する支援等に関する施策を促進し、障害者の権利利益の擁護に資すること」と定めています。事実を訴えられない障害のある人に対する虐待は社会全体で共有、解決すべき問題であるとの見地から、疑われる行為を発見したすべての国民に地方自治体への通報が義務づけられています。

施設の仕組みと体制の整備を

平成26年度の厚生労働省による調査結果では、市町村等への相談・通報件数は全体で6,868件、そのうち1746件の通報が障害者福祉施設従事者などによるものでした(内311件が虐待認定)。こうした実態を未然に防ぐためには、施設の仕組みと体制の整備が必要です。人権意識や支援技術の向上という職員一人ひとりの努力とともに、組織として、安心、安全な質の高い支援できるように努めなければなりません。

法人全体で質の高い支援を

亀岡福祉会では今年度より、「権利擁護委員会」を設置しました。障害のあるひとたちの権利が守られ生き生き

と働き暮らせているかを検証をしていくことや、虐待の未然防止と早期発見が委員会の活動の目的です。各事業所から1名〜2名の委員が参加し毎月1回委員会を開催しています。学習会では個々の支援が障害のある人の人格や尊厳を侵害していないか各事業所の記録等を検証し議論を行っています。また虐待防止啓発ポスターを作成するなど具体的な仕組み作りも進めています。学習・議論の中での気付きは最大の虐待防止であると考えます。日常的に議論を積み重ね質の高い支援ができるようにしていかなければなりません。

虐待の温床、虐待の芽は日常の支援の中にあるということを肝に銘じ、権利擁護委員会からの発信を新たなきっかけとしてあらゆる業務に携わる職員全員が権利擁護と虐待防止について知識を深め、障害のある人のあたりまえの生活を支援できるようにしていきます。



きょうされん第39回全国大会inくまもと (10/22~23) に参加してきました!!

「ドンドン」「シャンシャン」きょうされん熊本支部の仲間たちで結成した「火の国リズム隊」の綺麗な打楽器の音がフロアいっぱい響く中、きょうされん第39回全国大会inくまもとは盛大に開幕しました。亀岡福祉会からは、メンバー、家族、職員合わせて18名が参加し、学習や交流を深めました。

今年はいよいよ予防法廃止20年、水俣病公式確認60年の節目の年に当たります。初日のステージ企画では「熊本から伝えるプロگرام」と題し、障害者権利条約と人権をテーマに水俣病、ハンセン病の当事者、そして安永健太さんご家族からお話をいただきました。どの方も口をそろえておられた「まだ終わりでない。これからも伝えていきたい。そして忘れないで欲しい」という言葉が印象的で、「つながる力」「伝える力」「忘れない力」を持つことの大切さを確かめ合うことができました。

大交流会には800人を超える参加があり、会場は座りきれないくらい溢れました。利用者部会長による「ヒロシ」のものまねやスコップ三味線、マジックの披露があり、最後



には会場全員でダンスを踊り、大交流会を締めくくりました。

亀岡福祉会メンバーが参加した利用者部会では「あなたの夢や希望をおしえて!」をテーマに、全国の仲間たちのがんばっていることの報告や自分の夢などをたくさん聞くことができました。亀岡福祉会のメンバーも「自分の夢は結婚することです!」「パティシエになりたいです!」と力強く発言し、交流を深めました。

2日目の熊本観光のメンバーは阿蘇ミルク牧場コースへ行きました。雨がとても残念でしたが、動物とふれあう等元気いっぱい楽しむことができました。

今大会は、全体会や分科会を通じて、ハンセン病や水俣病の歴史から命や人権を守ることが語られた大会でした。閉会全体会では「わたしたちは障害のある人の命の尊厳を重視する立場から、社会参加を阻まれていく多くの市民と手を取り合い、平等主義と基本的人権の尊重をうたう現在の憲法を守りぬくことを宣言します」と大会アピール案が読み上げられ、満場の拍手で採択されました。



亀岡福祉会参加者の声

たくさんの人でびっくりしました。分科会では、みんなの夢やねがいがたくさん聞けました。自分も発言できてよかったです。楽しい全国大会でした。

かめおか作業所 片岡亜香里さん



初めての熊本、初めての全国大会でした。分科会で自分の夢を話すことができよかったです。震災のことをもっと知りたかったです。

第三かめおか作業所 中川 知可さん



第二かめおか作業所では、メンバーが熊本に向けたメッセージを集めたものを届けました!

昨年、神戸での全国大会に参加させて頂き、今年2回目の全国大会参加です。全体会や分科会は、毎回、全国の熱い思いがすごく伝わってくるものがあります。大会に集った一人ひとりがひとつになれ、決して一人じゃないんだという思いにさせてくれ、とても心強く感じた2日間でした。

お世話になった皆様、ありがとうございました。

保護者会 法貴 香代さん

ご来場ありがとうございました!!

秋晴れの10月16日(日)、ハートフェスタ2016を亀岡運動公園広場にて開催しました。ご来場いただいたみなさま、協賛金や備品借用などでご協力いただいたみなさま、ボランティアでご協力いただいたみなさま、どうもありがとうございました。

今年のハートフェスタは、たくさんの笑顔を広げて大きなつながりの輪にしていこうと「広がる笑顔 みんなの輪」をテーマに開催しました。

当日、主催事業所メンバー、保護者、職員の思いを伝える合唱構成詩では、「はたらくこと」「くらすこと」への思いを語り、7月におきた相模原での事件についても率直な気持ちを伝えました。40名近い来賓の方々をはじめ、来場いただいた方々が熱心にメンバーの声に耳を傾けていただけていました。

ステージでは、ご当地キャラのかめまる、しんがくん、まゆまる、さくらちゃんが登場した来場者参加企画の「ジャンケン大会」や、南つつけ丘小学校マーチングバンドと亀岡市吹奏楽団の演奏、主催事業所メンバーの歌や踊りの発表など、1日を通して楽しい企画が盛りだくさん。おいしいものいっぱいのお店にはたくさんのおみやげをたくさんご利用いただきました。ふれあい広場は「マイバッグづくり」や「焼き板でプレートづくり」、「ふれあいウオークラリー」、「ミニSSL」など、どのコーナーにも行列ができるほどの盛況ぶりでした。熊本地震への支援・応援メッセージのコーナーでは、大きな張りぼてくまモンにたくさんの方々のメッセージをいただきました。



笑顔と元気いっぱいの開幕太鼓



今年のテーマは「広がる笑顔 みんなの輪」!

さくらちゃん、かめまる君、しんが君、まゆまるによるじゃんけん大会

ハートフェスタ2016



展示では熊本への応援メッセージが来場者から多数寄せられました！



今年も来場していただいたみなさまに楽しく過ごしてもらおうと、そして障害のある人たちの思い、願いを知ってもらおうことができた一日になったのではないかと思っています。これからも、「ええやんこの街」づくりをいろんな人たちとつながりながら進めていきたいと思えます。みなさま、どうぞよろしく願います。



亀岡市吹奏楽団の皆さんによる演奏



事業所のステージ発表



南つつじヶ丘小学校マーチングバンドブルーエンジェルの皆さんによる演奏



子どもも楽しめるふれあい広場



「ちょっと聞いてよ！」

第7回 柴田真宏さん (第三かめおか作業所)

今回は、第三かめおか作業所で仕事をされている柴田真宏さんです。柴田さんは、19歳の時に、たけのこ共同作業所で仕事をされてから、かめおか作業所、第三かめおか作業所と23年間作業所で仕事をされています。そんな柴田さんに、日々の仕事を通しての感想や将来のことについて語っていただきました。

第三の地域就労で仕事をされていますが、どんな仕事をされていますか。地域就労では、清掃作業や草刈り、スーパールの仕事などを行っています。

毎日大変ではないですか。大変と言うよりは、楽しいです。一つの場所ですつと同じ仕事をするのではなく、毎日ちがう作業場で仕事をするので、楽しいです。

地域就労ではリーダーをされていますね。リーダーはどんな役割をしているのですか。

リーダーの一番の役割は、職員からそれぞれの作業場を任されるので、責任をもってみんなを引っ張っていかないといけないところです。僕らの仕事は、清掃作業など最後まできれいにしないといけない仕事が多いので、できていないところがあつたら、自分の仕事以外でもやらないといけません。大変な時もあるけど、リーダーをやっていると、やりがいがあります。

仕事でこんなことをしてみたいというのがありますか。

草刈りで、草刈り機を使って仕事をしたいです。以前に少しだけ草刈り機を使ったことがあるけど、もっと練習して、草刈り機を使えるようになりたいです。

今年仕事以外に楽しみを見つけたそうですね。それは何ですか。

ヘルパー制度を使って、地域就労の仲間と映画を見に行ったりすることです。今までは、そんな制度があることを知らなくて、毎日が仕事場と家の往復だけだったので、楽しみが出来て嬉しいです。11月も出かける予定なんです。

将来について思うことはありますか。

親も高齢になってきたので、将来は仲の良いメンバーと、グループホームと一緒に生活できたらいいなと思っています。



ご寄付 9月/10月

9/26 中西様 コーヒー

ご寄付ありがとうございました。

時

スポーツの秋・・・食欲の秋。読書の秋。文化の秋。いろいろな秋がありますが、皆さんはどのような秋をお過ごしでしょうか？

私は数年前から、すっかり走ることに、はまっています。いまい走ることになっていきます。9月に舞鶴で行なわれた「赤煉瓦ハーフマラソン大会」に出場しました。果たして結果は？

18キロ地点で関門に引っかかってしまい、バスに乗せられて、ゴール地点に運ばれるという情けない結果になってしまいました。また次の大会を目標にがんばります。

私は血圧が高くて血圧を下げる薬を服用しています。皆さん知っていますか？走ると血圧が上がると思いますが？下がると思いませんか？走ると血圧が下がります。私の場合、5キロ走って、汗をびっしょりかくと血圧が20も下がるのです。健康のために運動が大切なことは誰もが知っていることだと思います。

「散歩をするだけでも大切なことですよ」と先日、主治医から聞きました。いつまでも健康であるためにはやはり運動が必要なのですね。

(T)